



副住職のミャンマー紀行



「お坊さんの托鉢事情」

ミャンマーに伝わるのは、上座部仏教です。上座部仏教の僧侶は、自ら修行をして悟りを開くことを目的とす

上座部仏教は、インドから海を渡るルートをとどろりスリランカへ。そして東南アジアに伝わりました。お釈迦様の教えを忠実に守り、自らの出家を重視する自力救済を目的として原始仏教団の伝統を強く残しています。一方、大衆部仏教は、インドから陸上を通じて中国・朝鮮を渡り、6世紀頃には日本に伝わりました。お釈迦様の慈愛による生きとし生けるものすべての救済を信じました。

今から2500年前インドで誕生されたお釈迦様が説かれたみ教えは、入滅後、脈々と伝えられました。紀元1世紀頃には、その教えが上座部系と大衆部系に分かれる根本分裂と呼ばれる大きな分裂がありました。

托鉢の歴史



ミャンマーに滞在中、朝6時頃、どこからともなく歌声が聞こえてきたので見に行くと、子ども僧侶達が行くと、子ども僧侶達が托鉢の列をなしていました。托鉢は、早朝と正午前に習っています。日本でも、自宅のお仏壇に御仏飯をお供えしてお昼前に下げますが、これも当時の托鉢に習ったことです。

本物と偽物



るため、経済活動を行わず、僧院で修行生活を送ります。その生活は、朝一番の托鉢から始まり、信者の家々を周り、人々からご飯やおかずをもらいます。僧侶は、料理をすることができず、頂いた物だけで生活をします。好き嫌いという感情を挟まず、お恵みをありのままに頂きます。



別の日には、ホテルを出発しようとする時、子ども僧侶達が、私達観光客一行の後をついてきます。様子を見てみると、もらったお菓子を食ったり、日本円を見せて布施を要求する者もいます。聞けば、偽物の僧侶達だそうで、近くにいる年上のリーダーに、頂き物を渡していました。托鉢は、お恵みをそのまま頂き執着を取り除くための行いですが、これでは執着心のカタマリが行いでは、本物と偽物とを見分けるポイントが、「視線」にあると聞いたことがあります。本来頂いた物に執着を起さず、いけいけと、本物の托鉢僧は、布施をする人、布施をされる物に目を向けようです。仏教では、「三輪清浄」、「施す人」「受け取る人」「施す物」の三つが清らかでなければならぬとの教えがあります。ミャンマーで会った両親の功徳のために出家したと話してくれた托鉢中の子どもの目はとても清らかなものでした。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 10:00 納骨堂合同参拝 13:30 グランドゴルフ	
4 7:00日曜礼拝	5	6 14:00踊り教室	7	8	9 13:30 れんげの集い レクリエーション	10
11 7:00日曜礼拝	12	13	14 14:00ヨガ教室	15	16	17 13:30 グランドゴルフ
18 7:00日曜礼拝 15:00雅楽教室	19 敬老の日	20 14:00踊り教室	21	22 秋分の日 10:30 やすらぎパーク秋 彼岸法要 13:30秋彼岸法要	23 【法話】 福間義朝師(広島)	24 15:00 壮年会法座 「お正信偈に聞く Vol.15」
25 7:00日曜礼拝	26 9:00ボラン寺 (寺報発送)	27	28 14:00ヨガ教室	29	30	<来月の予定> 20日 定例法話会

天ちゃんの一言

★「天真寺お盆法要」皆様にお礼申し上げますありがとうございました。ご参拝下さったご門徒の皆様、2日間4座にわたり暑い中準備運営下さった役員の皆様には厚くお礼申し上げます。本当に有難うございました。盆名簿は一年間尊前にお供えさせていただきます。

★「やすらぎパークお盆法要」ようこそのお参りでした26名で賑々しく勤めました。今月もお彼岸法要がありますので、どうぞご参拝下さいませ。

★お寺の便りに掲載する皆さんの声をお寄せ下さい。ちょっとした感想で十分です。寺報担当の若松さんに渡すか静香までお送り下さい(shizuka0523@hotmail.com)。お待ちしております！

★「永代合葬墓」をお考えの方は、お気軽にご相談下さい。「やすらぎ堂」(松戸大町やすらぎパーク内)、「あんのん堂」(京都大谷本願寺内)があります。お墓のお悩みはご相談下さい。

門信徒会 に入りましょう

毎月、寺報「月刊天真」と仏教冊子をお送り、行事や法座の案内をしています。お盆やお彼岸、法話会などをご縁に、一緒にお参りしませんか。ご入会お待ちしております。

年会費：一戸3千円



お盆に境内の蓮を撮って下さった門信徒のカメラマン大西信夫さんの蓮の写真展も開催しました。キレイ！

天真寺

〒270-2251
 千葉県松戸市金ヶ作106番地
 TEL 047-389-0808
 FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp



